

議員のみなさまへ

私たちの暮らしをより良くするために日々ご尽力いただきありがとうございます。さて、この度は議員のみなさまにお願いがあつて手紙を書かせていただきました。この手紙は、私たちの地域の議員さん全員に送らせていただいております。

今回、お手紙と一緒に「本当に大丈夫？」というチラシを同封しましたが、その中にあるように、2021年12月8日の滋賀県甲賀市議会において、全国で初めて市区町村単位での「コロナワクチン接種後の死亡者数」が情報公開されました。これは、甲賀市議会において、ある議員が一般質問を行った結果です。

チラシのQRコードから、議会での答弁の様子が全て動画で観れますし、全文文字起こしもしてありますので、是非ご確認いただけたらと思います。

人口約9万人の甲賀市において、2021年2月～10月末の約8ヶ月間でコロナワクチン接種後に亡くなられた方の数が244人。これに対してコロナ禍と言われだしてから2021年10月末までの間に、甲賀市民でコロナで亡くなったとされる方は17人。

ただし「死因が何であれ、PCR陽性なら全てコロナ死としてカウントするように」と厚生労働省から通達されているため、実際はこの17人でさえ本当にコロナで亡くなったかどうかは定かではありません。

こういった数がきちんと公開されていれば、私たち市民は「コロナとコロナワクチン、どちらがリスクが大きいのか？」ということをしつかりと検討し、判断することができるでしょう。

現在、国も全国のほとんどの自治体も、ワクチン接種を推奨する方向性で進んでいますが、このような重要な情報が一般市民に一切知らされていないまま、私たち市民はコロナワクチンを接種するかどうかを決めなくてはいけないという状況です。

また、10月末時点での全国のコロナワクチン接種後の死亡者数は1312人であると厚生労働省は発表しています。全国の人口約1億2,600万人に対して、甲賀市の人口約9万人は1400分の1ですが、同じ期間における全国のコロナワクチン接種後の死亡者数1312人に対して、甲賀市は244人で5分の1です。

ところで、厚生労働省発表の人口動態総覧によると、コロナが始まった2020年は超過死亡が9千人減っており、コロナワクチンの接種が始まった2021年には超過死亡が6万人を超え、東日本大震災があつた2011年を上回っています。一体これらの情報を、私たちはどう理解したらいいのでしょうか？

今、このまちで、この国で、そして世界で、何が起きているのでしょうか？

人口約9万人規模の甲賀市で244人なら、自分の住むまちでは一体、何人の方々がコロナワクチン接種後に亡くなっているのだろうか？コロナで亡くなったとされる方は何人になるのだろうか？自分のまちにおける正確な数字を知りたいと思います。

是非とも次回の議会で、この件に関する一般質問をしていただき、情報公開請求を行っていただきたいのです。この手紙は全ての議員さんに送らせていただいております。質問していただくのはどなたでも構いません。

私たち市民一人一人が「ワクチン接種をするかどうか」を判断するための正確な情報が必要です。甲賀市議会で行われたのと全く同じように、議会での一般質問をしていただけないでしょうか？

そして、死者数が正確に発表されましたら、甲賀の市議会議員さんがされたように、「ワクチン副反応報告の一般公開」を真摯に求めていただきたいと思います。

私たちの暮らしをよりよくするために、日々努めておられ、また行政を監視する役割を担う議員さん方におかれましては、必ずどなたかが私たち市民のために、この一般質問を行う決意をしていただけるものと信じております。

この件についての一般質問をしていただける方がいらっしゃいましたら、「いのちと暮らしを紡ぐネットワーク」事務局までご連絡ください。サイト上の全国リストに掲載させていただき、一般質問される当日は、全国の仲間呼びかけ、傍聴に行かせていただき、公開された情報を広く共有していきたいと思います。

全国各地の市区町村議会において、各市区町村単位での「コロナワクチン接種後の死亡者数」が情報公開されていけば、「メディアや国や自治体が勧めるから」ではなく「周りのみんなが打つから」でもなく、私たち市民一人一人が自分で考えて「ワクチン接種をするかどうか」を判断できるようになるのではないかと思います。

既に3回目接種も始まっており、3月からは全国的に5～11歳の子どもたちへのワクチン接種が始まりました。私たち市民の、そして子どもたちの大切ないのちをまもるために、何卒よろしく願いいたします。

いのちと暮らしを紡ぐネットワーク

www.corowaku.info

tsunagu@corowaku.info

